

決算説明資料（連結）

2018年3月期 第4四半期

インヴァスト証券株式会社

1. 四半期決算概況 (2018.1~3)
2. 通期決算概況 (2017.4~2018.3)
3. 株主還元・配当政策
4. 今期の取り組み
5. Mission/Vision・経営戦略

ビジョン達成に向けた取り組みと途中経過



四半期決算概況 (2018.1~3)

2018年3月期 第4四半期決算 (2018.1-3) のポイント

■ 営業収益は12億14百万円 (前年同四半期比+15.9%)

- 国内金融事業 (当社) の純営業収益は、8億87百万円 (前年同四半期比+21.8%)
セグメント利益2億14百万円 (同+573.8%) を計上
- 海外金融事業 (豪州子会社 I F S) は、純営業収益3億4百万円 (前年同四半期比△4.9%)
セグメント利益72百万円 (同△40.4%) を計上
 - 年明け以降の世界的な株高を受け、店頭 E T F 「トライオート E T F」の取引量が急増したこと、
子会社 I F S の業績安定により、トレーディング損益は9億24百万円 (同+11.5%)
 - 取引所 F X 「くりっく365」の受入手数料は1億72百万円 (同+13.9%) と増加

■ 販売費・一般管理費は9億円 (前年同四半期比+0.9%)

- プロモーション活動を抑制した昨年同四半期に比べ、
広告宣伝費は増加 (1億14百万円、同+17.6%)
- 顧客関連資産の償却終了により、減価償却費が減少 (53百万円、同△34.0%)

■ 営業利益2億87百万円 (前年同四半期比+86.5%)

経常利益2億76百万円 (同+100.7%)

親会社株主に帰属する四半期純利益は2億80百万円 (同+281.4%)

- 固定資産処分損1百万円を特別損失に計上

四半期毎の連結業績推移

単位：百万円	2017年3月期				2018年3月期				対直前 四半期 増減率 (18/3Q比)	対前年 四半期 増減率 (17/4Q比)
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q		
営業収益	924	742	833	1,048	943	989	1,018	1,214	+19.2%	+15.9%
受入手数料	217	162	180	151	146	147	139	172	+23.5%	+13.9%
トレーディング損益	617	503	565	829	736	790	821	924	+12.6%	+11.5%
金融収益	7	5	5	6	11	13	25	31	+23.1%	+396.3%
その他の営業収益	82	70	81	61	48	38	33	86	+161.7%	+41.4%
金融費用	0	2	0	1	4	8	17	26	+53.5%	+2,430.8%
純営業収益	924	740	832	1,047	938	981	1,001	1,188	+18.6%	+13.5%
販売費・一般管理費	848	866	979	893	843	868	895	900	+0.6%	+0.9%
営業損益	75	△126	△146	154	95	112	106	287	+171.0%	+86.5%
経常損益	71	△128	△150	137	98	108	91	276	+201.2%	+100.7%
税金等調整前四半期 純損益	77	△128	△128	76	103	108	128	275	+113.4%	+260.1%
親会社株主に帰属する 四半期純損益	52	△108	△137	73	94	101	120	280	+132.3%	+281.4%

四半期毎の連結業績推移（販管費の内訳）

単位：百万円	2017年3月期				2018年3月期				対直前 四半期 増減率 (18/3Q比)	対前年 四半期 増減率 (17/4Q比)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
販売費・一般管理費	848	866	979	893	843	868	895	900	+0.6%	+0.9%
取引関係費	212	245	327	208	177	201	234	234	+0.2%	+12.8%
(内、広告宣伝費)	(112)	(154)	(223)	(96)	(83)	(116)	(137)	(114)	△17.3%	+17.6%
人件費	233	211	227	243	247	254	252	264	+4.8%	+8.8%
不動産関係費	270	282	301	307	291	291	296	300	+1.5%	△2.3%
(内、システム関連費)※	(224)	(234)	(246)	(248)	(236)	(231)	(232)	(230)	△1.0%	△7.5%
事務費	6	9	6	5	6	7	8	7	△9.2%	+39.3%
減価償却費	88	84	80	80	78	80	70	53	△24.1%	△34.0%
租税公課	23	17	21	30	26	21	24	24	+2.0%	△17.8%
その他	14	15	13	17	15	12	10	15	+50.0%	△14.9%

※システム関連費…主に、店頭F Xの出来高に応じたITベンダーへのシステム利用料です。

- ・ 広告宣伝費比は、直前四半期比△17.3%となるが、広告宣伝費の圧縮を行った前年同四半期比では+17.6%増加。
- ・ 顧客関連資産の償却終了により、減価償却費は直前四半期比△24.1%、前年同四半期比△34.0%の53百万円となる。

四半期毎の連結業績推移（セグメント別）

単位：百万円	2017年3月期				2018年3月期				対直前 四半期 増減率 (18/3Q比)	対前年 四半期 増減率 (17/4Q比)
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q		
国内金融事業（当社）										
純営業収益	782	603	655	728	710	753	733	887	+21.0%	+21.8%
セグメント損益	64	△131	△174	31	40	67	42	214	+403.5%	+573.8%
海外金融事業（海外子会社 I F S）										
純営業収益	144	139	177	319	229	230	271	304	+12.0%	△4.9%
セグメント損益	10	5	27	122	54	44	63	72	+14.6%	△40.4%

- 国内金融事業は、トライオートETFの取引量急増等に起因して、直前四半期比、前年四半期比ともに増収増益。
- 海外金融事業は、安定的な業績推移により、直前四半期比で増収増益。

・報告セグメントの変更について

2018年3月期より報告セグメントを4区分から、「国内金融事業」および「海外金融事業」の2区分に変更しております。変更の理由は、経営資源配分や投資などの経営判断を国内事業と海外事業という区分毎に行っているという経営管理体制の実態等を鑑み、より適切であると判断したことによるものです。



通期決算概況 (2017.4~2018.3)

連結業績サマリー

単位：百万円	2017年3月期 累計	2018年3月期 累計	対前期 増減率
営業収益	3,548	4,166	+17.4%
受入手数料	711	604	△15.0%
トレーディング損益	2,516	3,273	+30.1%
金融収益	25	81	+222.6%
その他の営業収益（※）	295	206	△30.1%
金融費用	4	56	+1,188.0%
純営業収益	3,544	4,109	+16.0%
販売費・一般管理費	3,587	3,508	△2.2%
営業損益	△42	601	—
経常損益	△70	575	—
税金等調整前当期純損益	△102	615	—
親会社株主に帰属する当期純損益	△118	597	—

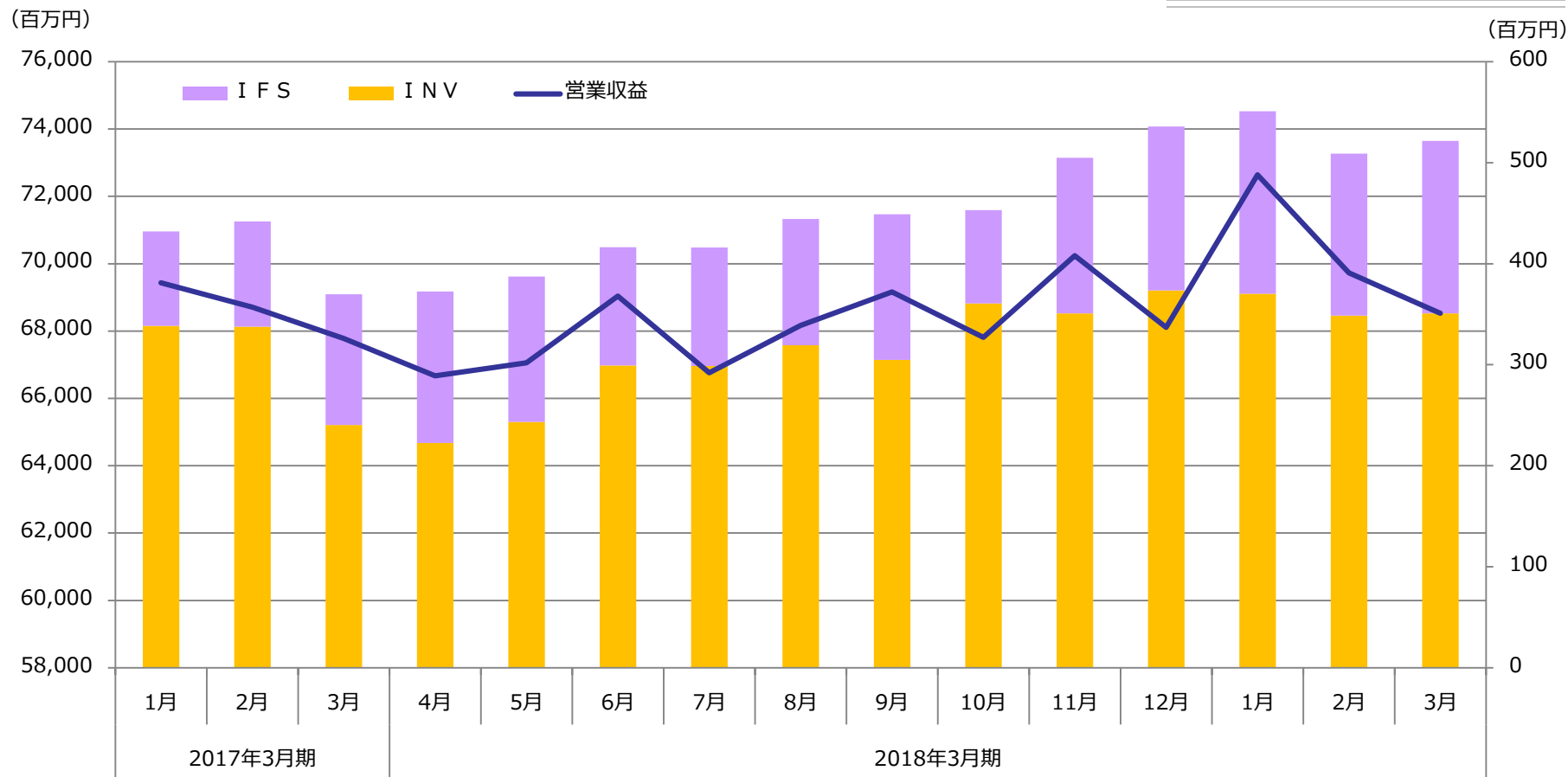
※その他の営業収益には、主に東京金融取引所の「くりっく365」取引振興策による取引振興料を計上しております。

単体業績サマリー

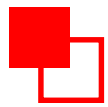
単位：百万円	2017年3月期 累計	2018年3月期 累計	対前期 増減率
営業収益	2,774	3,140	+13.2%
受入手数料	670	474	△29.2%
トレーディング損益	1,807	2,397	+32.6%
金融収益	2	55	+1,914.1%
その他の営業収益（※）	293	212	△27.6%
金融費用	4	56	+1,188.0%
純営業収益	2,770	3,084	+11.3%
販売費・一般管理費	2,979	2,718	△8.8%
営業損益	△209	365	—
経常損益	△217	345	—
税引前当期純損益	△271	348	—
当期純損益	△287	299	—

※その他の営業収益には、主に東京金融取引所の「くりっく365」取引振興策による取引振興料を計上しております。

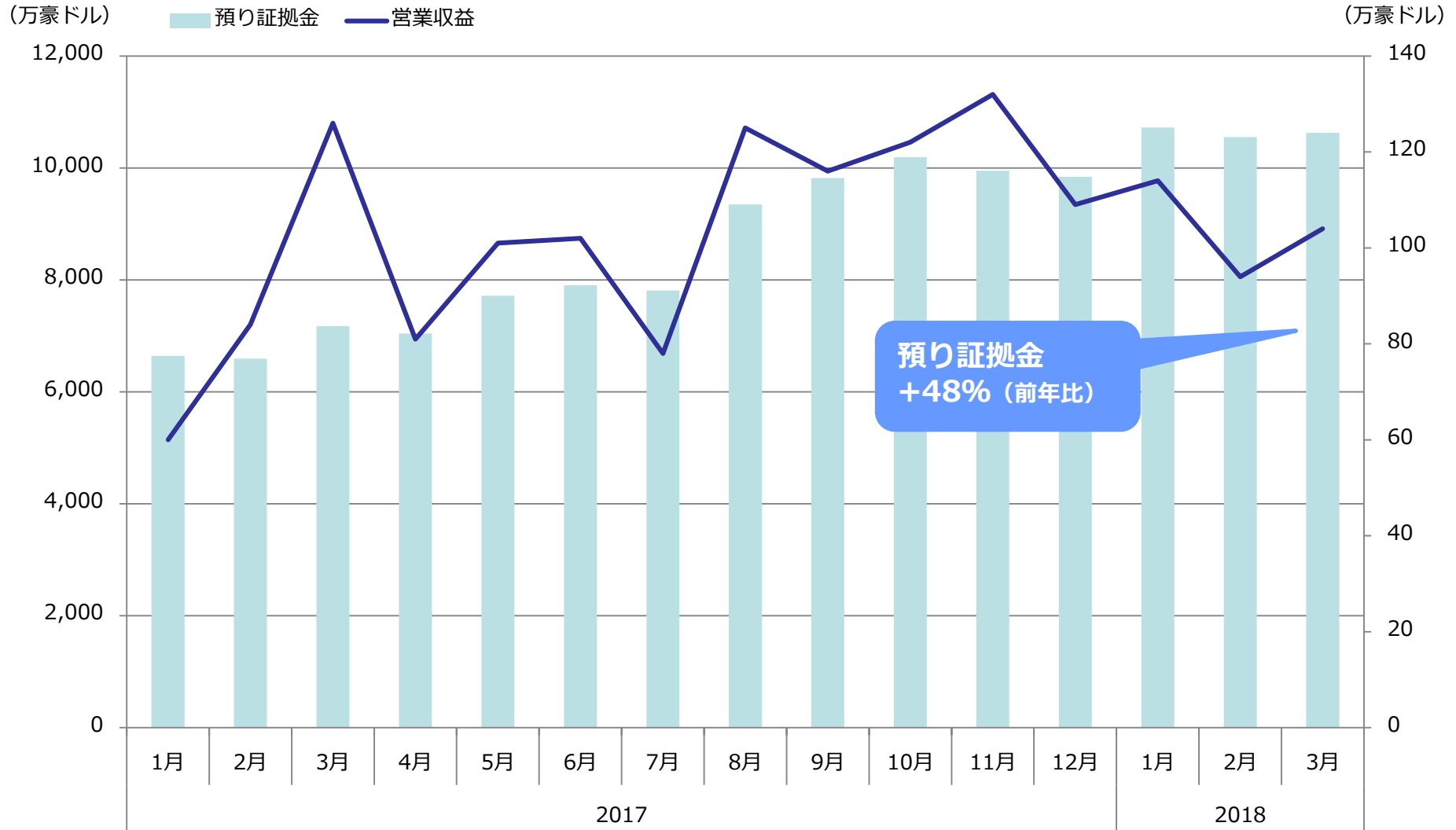
【連結】 営業収益・預り証拠金推移



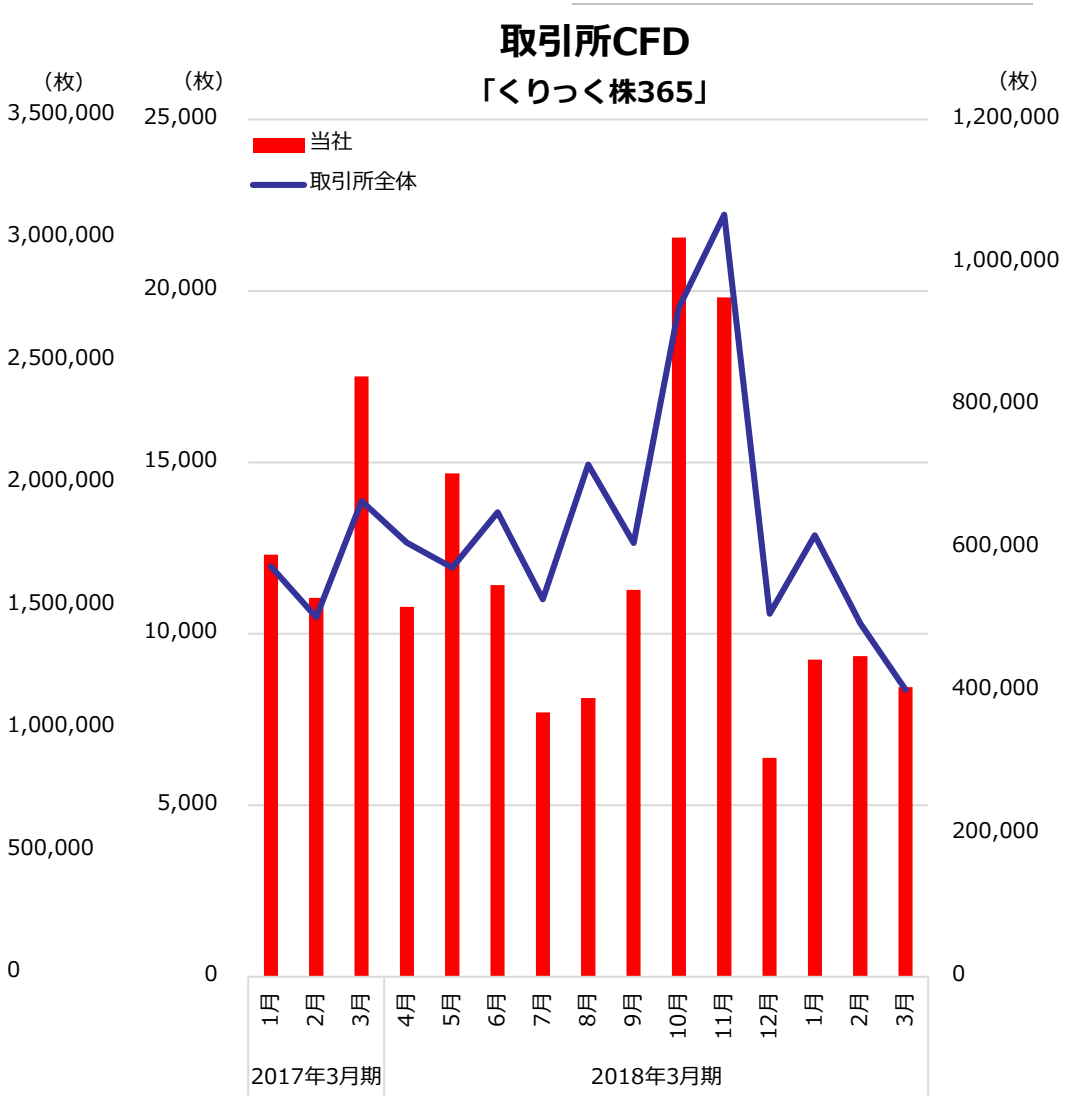
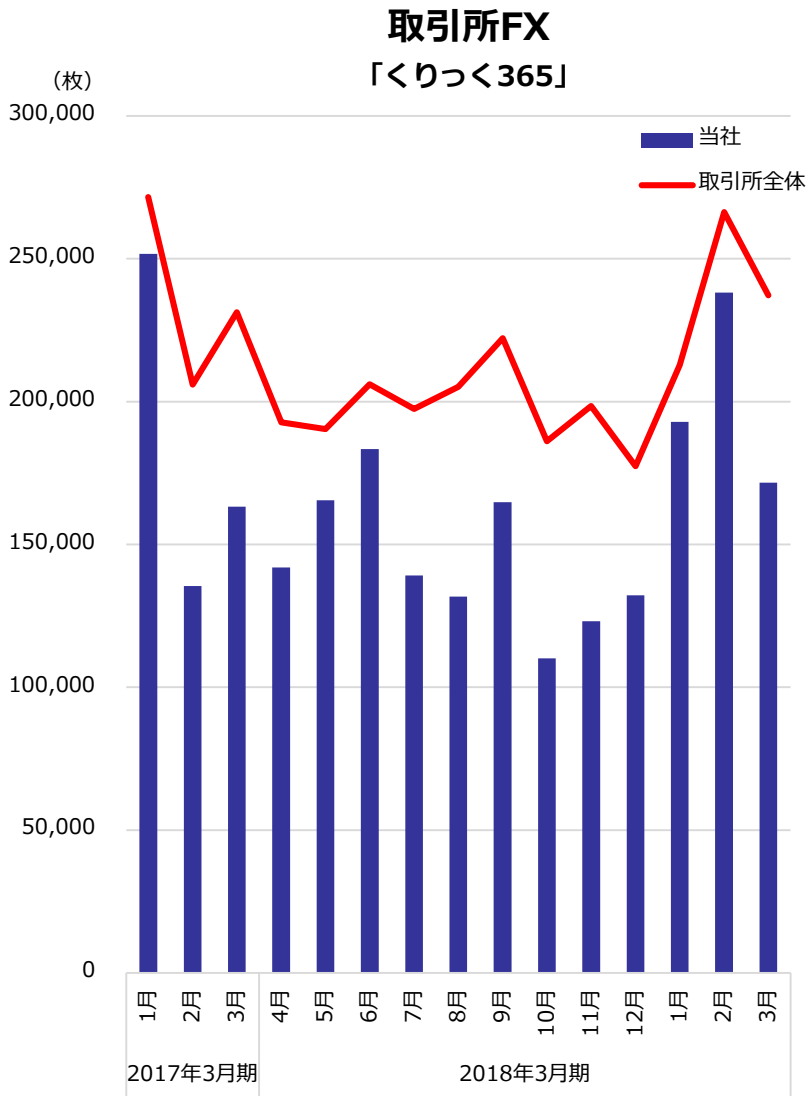
- (注) 1. 連結子会社 I F S の決算日は12月末となっているため、上記数値は、発生から3ヶ月遅れで連結しております。
 2. I F S の営業収益等は、月中平均為替レートを用いて円換算しております。
 3. 2017年3月より、「くりっく株365」事業に係る預り証拠金の表示方法を変更したことにより、当該事業に係る預り証拠金が減少しております。



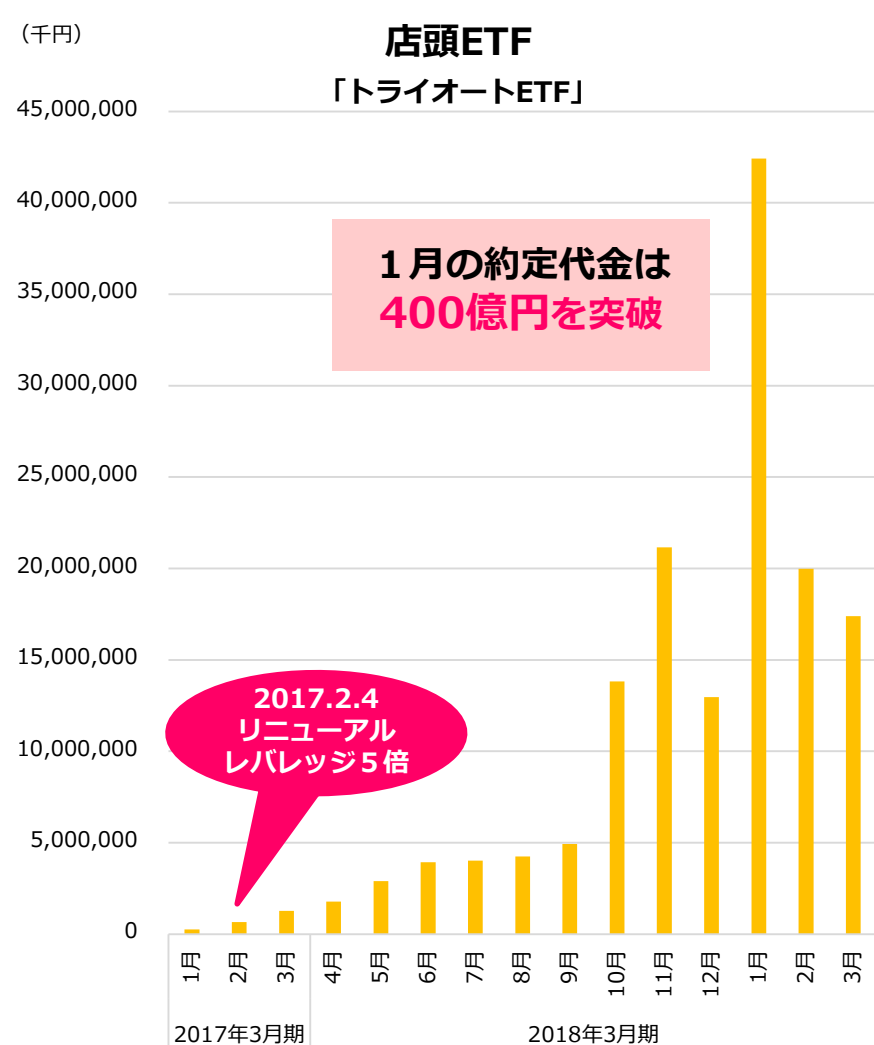
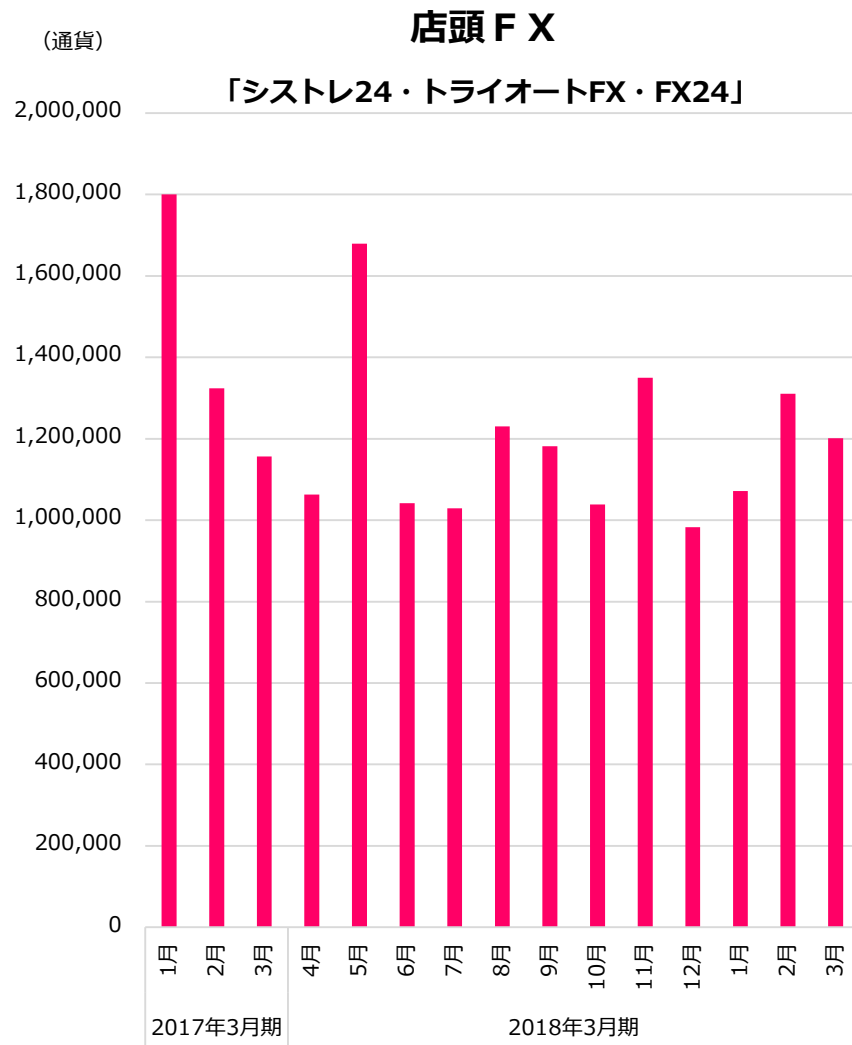
【IFS】 営業収益・預り証拠金推移



【取引所FX・取引所CFD】取引高推移



【店頭FX・店頭CFD】取引高推移

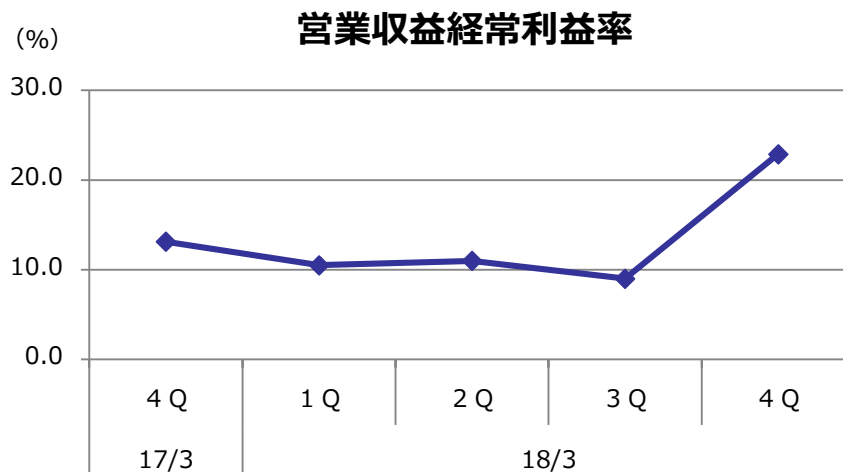
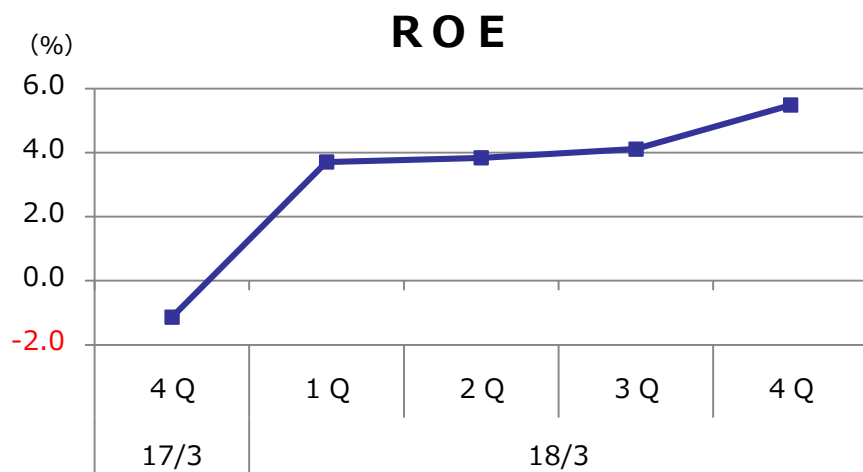


主要経営指標推移

	2017年3月期				2018年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
ROE (%)	2.0	△1.1	△2.5	△1.1	3.7	3.8	4.1	5.8
営業収益経常利益率 (%)	7.7	△17.4	△18.0	13.1	10.5	11.0	9.0	22.7
EBITDA (百万円)	159	△44	△70	218	177	188	161	329

※ROEは、四半期純利益を年換算して算出しております。

EBITDAは、「税金等調整前四半期純利益－特別損益＋支払利息＋減価償却費」で計算しております。





株主還元・配当政策

株主還元・配当政策

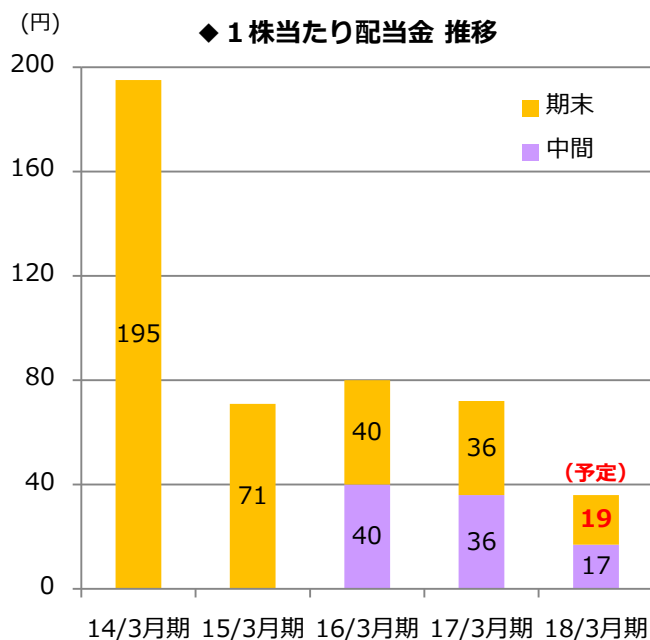
◆配当方針（2018年3月期以降）

連結配当性向30%または連結純資産配当率（DOE）2%（年率）のいずれか高い方を目安とし、中間・期末の年2回の配当を実施

◆2018年3月期 配当

中間配当 17円

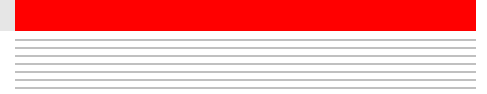
期末配当 **19円（予定）**



◆配当の実績

決算期		14/3月期	15/3月期	16/3月期	17/3月期	18/3月期
1株当たり 配当金額 (円)	中間	0.0	0.0	40.0	36.0	17.0
	期末	195.0	71.0	40.0	36.0	19.0 (予定)
	合計	195.0	71.0	80.0	72.0	36.0 (予定)
当期純利益 (百万円)		3,931	496	△404	△118	597
配当総額 (百万円)		1,137	416	469	422	211
配当性向 (%)		30.2	83.4	—	—	35.4
ROE (%)		32.0	4.0	—	—	5.8
DOE (%)		9.6	3.3	4.1	4.0	2.0
配当利回り (%) ※		14.8	6.1	5.9	5.5	3.4

※各年度末の終値で算出



今期の取り組み

今期の取り組み

2017年	
4月	【社会貢献ポイントプロジェクト】2017年インヴァストミッションプロジェクト申込受付開始
5月	米国500 Startupsが運営するファンド「500 Fintech L.P.」へ出資
6月	総額1,000万円！FX vs ETF 最強を決める『リアルトレード頂上決戦グランプリ』開幕
7月	元手資金ゼロからはじめる世界初の資産運用サービス「マネーハッチ」リリース
7月	FXトレードで積立資金がどんどんたまる「マネーハッチリリース記念キャンペーン」スタート
8月	「マネーハッチ×インヴァストカード」メディア向け説明会開催
9月	「マネーハッチ」利用者数、開始2ヶ月で5,000人を突破
2018年	
1月	【トライオートETF】「ETF自動売買セレクト」バージョンアップ
2月	【豪州子会社IFS】ラグビー 男女セブンズ・オーストラリア代表 2018年オフィシャルパートナー就任
3月	【豪州子会社IFS】ヘッジウィーク グローバルアワード2018 Best Specialist Market Prime Broker受賞

「マネーハッチ」とは？

クレジットカードのポイントなどを投資元本にする事で、元手ゼロから始める事が出来る積立投資です。様々な方法で積み立てられた資金は、週に1回、定期的にETF（上場投資信託）を自動売買し、実現利益は再投資されます。

■ 投資用資金はゼロ円からスタート ～ポイントを原資に～

- 還元率1%のインヴァスト専用クレジットカードから毎月自動的にポイントを現金化
- 当社がご提供する各種サービスでの取引キャッシュバック
- 当社にご開設いただいている各種サービス口座/銀行口座からの自動振り替え

■ 自動で世界に分散投資

- 投資先は国内外のETF（上場投資信託）
- マネーハッチ開始時の自動売買における投資スタイル設定は「世界株自動売買ETF」
- CFD（差金決済取引）形式での売買の為、投資元本は為替リスクなし
- 手数料無料で0.1口からの小額買い付けが可能

■ 自動売買積立投資

- 相場の上下値動きに伴い、安いところで買付け、値上がりしたら利益確定し、下がったところで再度買付けたり、利益を再投資に回すなどを完全自動

インヴァストカード

■ 還元ポイントは毎月全自動で現金化、ETF投資

- ポイント現金化手続き一切不要、完全自動現金化
- 現金化されたポイントは、自動的にETF投資原資に

■ ポイント還元率 1.00%

- JACCSモール経由なら還元率1.50%以上
 - JACCSモールには人気ショップ550店以上
Amazon.co.jp 楽天市場/楽天トラベル ヤフオク
Yahoo!ショッピング ZOZOTOWN iTunes Store

■ ご利用で年会費はずっと無料

- 年会費は初年度無料
- 翌年度以降も、前年度1回以上のカード利用で無料

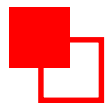
■ 保険は充実のラインアップ

- 国内旅行障害保険付帯（障害死亡・後遺障害保険金 最高1,000万円）
- カード盗難保険
- ネット安心サービス

■ ETCカードは年会費無料、家族カードもご利用で年会費無料



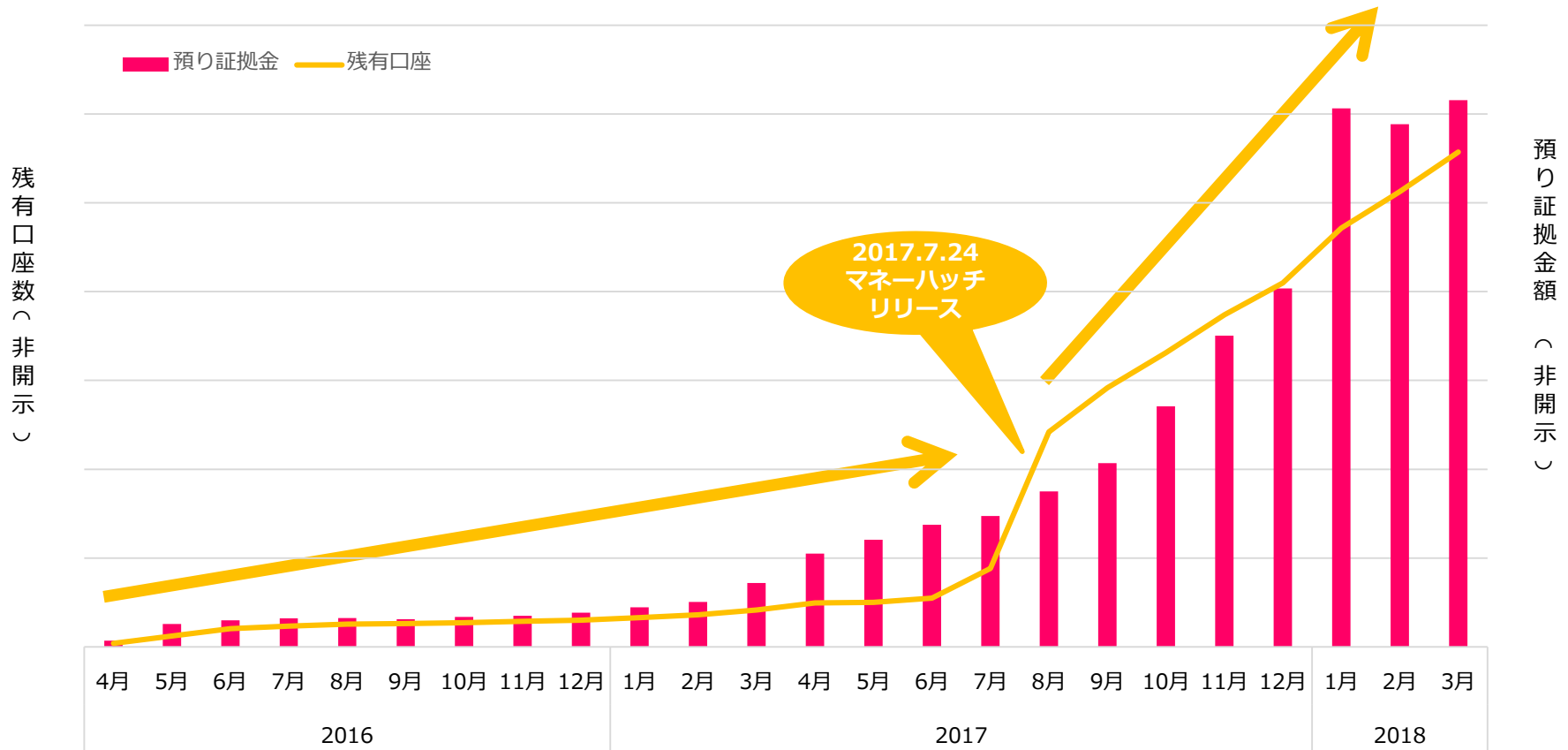
<https://moneyhatch.jp/moneyhatch>



マネーハッチ効果で「トライオートETF」事業が大幅成長

2017年7月の「マネーハッチ」リリース後

残有口座数 約**10倍** 預り証拠金 約**4.5倍**に増加



2018年1月13日

選ぶだけでETFの自動売買取引ができる「ETF自動売買セレクト」バージョンアップ実施

新機能追加

1. カート機能

複数の銘柄を組み合わせたポートフォリオを作成し、シミュレーション結果を確認しながら取引口数の変更や銘柄追加を自由に行うことができます。

2. コントリビューション機能

自らが組み合わせた設定をETF自動売買セレクト上からシェア（=コントリビュート）することができる機能です。

コントリビュートした設定は、ETF自動売買セレクト上で公開され、他のトライオートETFユーザーがその設定を利用することができます。

説明記事：<https://www.invast.jp/blogs/etf/new-etfselect>



インヴァスト証券は「人工知能」および「ネット上のNews / SNS」を活用可能なトレーディングAIを開発し、このアイデアの基礎部分に当たる発明について、特許を出願しました。

データサイエンス部では2017年より以下の取り組みを行ってまいりました。

- ディープ・ラーニング技術を活用し、相場予測精度を改善する。
相場予測は、マーケットサイクルに対する考慮がなされる必要がある。
- 相場急変時の損失事前回避の可能性を高める、または収益機会を逃さないため、「ネット上のNews / SNS」の有効活用を実現する。
- 取引は差別化されるべきであり、お客様自らがAIを改良・改変できるようにする。
- 作成されるAIはFXまたはETFだけではなく、個別株、コモディティや仮想通貨など広く応用が利く仕組みとする。
- AIは常に学習を続け、予測および取引の失敗を今後に生かす仕組みを持つ必要がある。

現在は、当コンセプトの実現性および可能性の確認が期待通りに完了し、今後さらに精度および機能の強化を進めてまいります。現時点では「弊社既存ビジネス内での活用」、または「新規ビジネスとしての展開」の両面での活用について検討段階であり、具体的な導入スケジュールはございません。

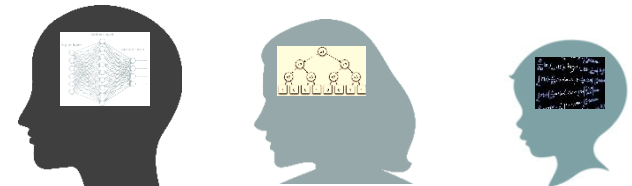
弊社データサイエンス部はお客様の利益に貢献することを目指し、今後も先端技術の応用に努めてまいります。

■ 特許出願の概要

出願番号：特願2018-062535

発明の名称：取引支援システム、取引支援方法および取引支援プログラム

特許出願人：インヴァスト証券



～社会貢献ポイントプログラムについて～

2016年に開始した社会貢献ポイントプログラムは、インヴァスト証券でのFX取引により貯まった社会貢献ポイントを寄付やグッズと交換し、認定NPO法人を支援できる新しいポイントプログラムです。認定NPO法人への寄付を選んで確定申告をすれば寄付金控除（所得控除または税額控除）の対象として税制優遇のメリットを享受できます。

※お客様の所得状況によっては税務上のメリットがない場合があります。

2017年 寄付金総額 3,911,187円 331人

寄付先：認定NPO法人 カタリバ、自立生活サポートセンター・もやい、Teach for Japan、フローレンス、Living in Peace

2018年の参加団体について

2018年は1月から11月末まで同プログラムを実施し、4月1日よりポイントの利用先（寄付先やグッズ）の申込受付を開始しております。寄付先としてご参加いただく認定NPO法人は、日本において深刻化している社会問題、主に子供やシングルマザー、貧困、教育問題の解決に取り組んでいる2017年にご参加いただいた上記5団体に加え、新たにご参加いただく認定NPO法人の募集をしております。

認定NPO法人の募集について

2018年4月より、本ポイントプログラムへの参加を希望する認定NPO法人を募集しております。

1. 募集期間 2018年4月2日（月）～2018年6月29日（金）
2. 応募条件
 - ・日本国内の社会問題の解決に取り組んでいる「認定NPO法人」であること
 - ・団体のWebサイトが存在していること

※応募方法、審査の流れにつきましては、下記をご覧ください。

<https://www.invast.jp/company/release/>

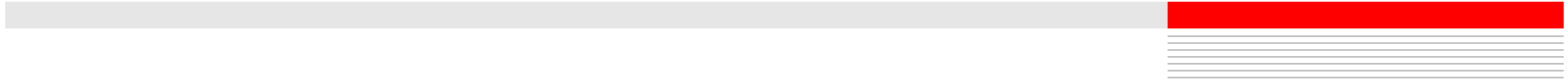
「インヴァスト証券 社会貢献ポイントプログラム2017年寄付金額のご報告 2018年の寄付先の認定NPO法人決定ならびに新団体の募集について」

【IFS】ラグビー オーストラリア代表のオフィシャルパートナー就任



- IFSは、ラグビー男女セブンスチーム、オーストラリア代表（オリンピックスポーツ）の2018年オフィシャルパートナーに就任しました。
- 女子チームは2016年のリオオリンピックでの金メダリストです。
- IFSは、日本で開催される2019年のラグビーワールドカップ、2020年のオリンピックに向けてスポンサーシップを拡大する予定です。





Mission/Vision ・ 経営戦略

Mission 存在する目的

世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。

私達の考える「もっと良い場所」とは、一生懸命働いている人が、ちゃんと豊かになれる世の中であり、優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中であり、どんな人でも、幸せになる為の資産形成が出来る世の中です。

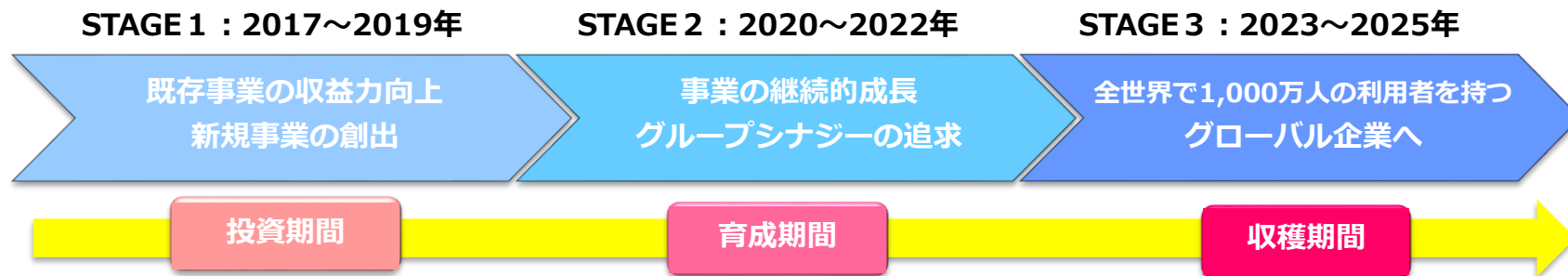
私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに思い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出すこと、挑戦する人をサポートし、より多くの人々が人生を豊かにするためのチャンスをつかむ、お手伝いをすることです。金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に貢献していきたいと考えております。

Vision 目指す姿

2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ 金融ソリューションを生み出す

資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たし、ビジョン達成の為に議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。

ビジョン達成に向けた経営戦略



経営戦略（STAGE1：2017～2019年）

① 既存事業の収益力向上

- ・ 独自の付加価値サービスの提供力強化（テクノロジーを活用した自動売買ソリューション）
- ・ 高い収益性、成長が見込める事業への優先投資
- ・ システム統合、内製化等によるコスト構造改革

② 新規事業の創出

- ・ 新たなビジネス領域への進出、FX事業に次ぐ第2・第3の収益の柱を創る
- ・ 人々のお金に関する課題解決を軸とした事業模索
- ・ VCファンド出資を通じたM&A、事業提携等

③ その他

- ・ 企業ブランドの構築
- ・ グローバル展開に対応しうる優秀な人材の獲得、組織の人材基盤強化

経営戦略（STAGE1：2017～2019年）

① 既存事業の収益力向上

- FX事業に次ぐ主力事業としてトライオートETFが成長し、世界株ETFの自動売買サービスを確立
- 自動売買セレクトの継続改善や顧客が自動売買ロジックを作成してシェアできるソーシャル機能付加取引プラットフォームとしてのネットワーク効果を強化中
- 2020年3月期までのロードマップを策定し、テクノロジーを駆使した自動売買の更なる強化と、固定費削減等による損益分岐点を下げる改革に着手
- IFSは順調に事業規模を拡大し、欧州やアジアなど新拠点立上げを模索中

② 新規事業の創出


- 自己資金0円から始める積立投資「マネーハッチ」をリリース、開始2ヶ月で利用者5,000名を突破
還元率1%のクレジットカードのポイント等を元手に、世界株ETFに積立投資というコンセプトが広く受け入れられる
- 米国500 Startups運営ファンド「500 Fintech L.P.」に出資、成長企業300社以上をスクリーニング
- IFSにおいても複数の新規事業を企画中

③ その他

- アジャイルな内製開発体制構築の為、ハイレジ・ユネス氏が執行役員C T Oに就任
- 即戦力となるITエンジニアを多数採用（中国、スペイン、米国、タイなど）、IT開発チームを組成
- 多様な働き方（副業の容認、裁量労働制の導入）について検討、2018年4月より実施

インヴァスト証券の会社概要 (2018年3月31日現在)

■ 会社名	: インヴァスト証券株式会社 (INVEST SECURITIES CO.,LTD.)
■ 所在地	: 東京都港区西新橋一丁目6番21号 NBF虎ノ門ビル
■ 設立年月日	: 1960年8月10日
■ 資本金	: 59億6,508万円
■ 上場取引所	: JASDAQ市場 2006年3月6日 証券コード: 8709
■ 代表者	: 代表取締役社長 川路 猛 (かわじ たけし)
■ 主要な事業	: 金融商品取引業 (第1種/第2種/投資助言業) 関東財務局長 (金商) 第26号
■ 加入取引所	: 東京金融取引所



免責事項

- 本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、様々なリスクや不確定要因が伴うため、現実の結果が将来の見通しに関する記述に含まれる内容または将来の見通しに関する記述で示唆されている内容と大きく変わる可能性があります。
- 本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、その時点で提供可能な情報であり、その完全性、正確性、適用性、有用性等いかなる保証も行っておりません。
- 掲載された情報に基づく判断については、利用者の責任のもとに行うこととし、当社はこれにかかわる一切の責任を負うものではありません。